



Chevrolet Camaro SS RS Giovanna EDITION

■撮影/木村弘 ■文/A-cars
 ■問い合わせ/キャデラック・シボレー国立 TEL:042-575-2526 www.sig-inc.jp
 T2DF TEL:03-5778-7172 (本社) TEL:042-580-0268 (シボレー) www.giovannawheels.co.jp



「Giovanna EDITION」 それは世界標準のライセンス

ホットロッドやトラッキン、ローライダーなど、A-carをベースとしたカスタムのカテゴリーは数多い。いずれも強くアメリカを感じさせるスタイルが特徴で、さらに各々のジャンルの歴史は古く、いまなお熱いファンに支えられ続けている。アメリカで自動車文化として成立しているのはこういった側面が大きく影響していることは間違いあるまい。

そんなカスタムの世界で近年、注目を集めているのが、ユーロのテイストを取り入れたスパルタンなUSスタイルだ。ボディへのデコレイトは抑え目しながら車高調でグッとロウリングし、シンプルなスポーク系ホイールをインストール。これで走りのイメージを打ち出しつつ、ディテールには高級感あるパーツをさり気なくあしらひ、スポーツ&ラグジュアリーな雰囲気仕上げる大人のスタイルである。

この手法を取り入れ仕上げられたシボレー・カマロは、現代版マッスルとしてのアグレッシブなキャラクターはそのままに、洗練されたユーロの品格をも感じさせるコーディネートが最大の見どころだ。

与えられた名は「シボレー・カマロ「Giovanna」エディション」。Giovanna (ジオブアンナ) とはカリフォルニアにヘッドクォーターを構えるホイールメーカーで、世界のセレブリティたちの愛車をスタイリッシュに魅せる屈指のブランド。つまり彼らの名を冠した別注モデルこそがGiovannaエディションというわけだ。これまでも数多くのモデルが発表され、今回のカマロがシリーズ10作目となる。

A-car's Style-up Program

GENUINE CODE

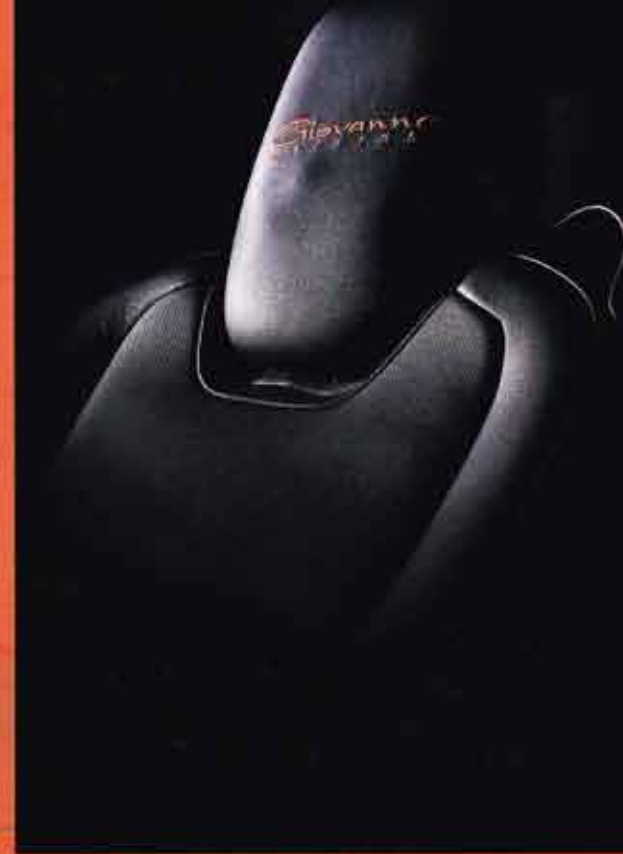
GMジャパン公認、大人のライセンス。

この記念すべきモデルは自動車評論家の九島辰也氏がプロデュースを担当したことに加え、初のGMジャパン公認モデルとなっているのが最大の特徴。独占販売を手がけるキャデラック・シボレー国立店には早くも問い合わせが殺到しているという。よって当然ながら組み合わせられるホイールはGiovanna。今回の撮影車両には22インチの最新モデル「MONZA」が採用されていたが、もちろんGiovannaのラインナップから他のモデルを選ぶことも可能となっている。

足回りには定評あるベダースの車高調キットを指名し、絶妙なフォルムにセッティング。さらにボンネットからルーフ、トランクへと流れるオリジナルデザインのGTラインを採用し、加えてアルミ削り出しのフェューエルドアやサイドシル、リアのボウタイのエンブレム (いずれもディフェンダーワークス製) などでエクステリアを統一。インテリアも同様に「Giovanna EDITION」のロゴが入ったヘッドレストとフロアマットでコーディネートするというメニューとなっている。

そして忘れてはならないのが、このGiovannaエディションはGMジャパン公認の「車検対応」であるという事実。これだけの魅力的なカスタムが施されたモデルでありながら、この状態のままディーラーに乗りつけることができるというわけだ。ノーマルとは明らかに差別化が図られたスタイルを味わいつつ、ディーラー車としてのサポートもしっかり受けられる——オーナーにとって、それは何物にも代えがたいメリットとなるはずだ。

ホイールを履き替え車高を落とせば、どんなクルマでもカッコよく見える。しかし、そこに全体をコーディネートするキーワードがあれば、その存在価値は格段に向上する。そしてそれが「Giovanna」というブランドならば、それは世界標準のライセンスとなる。



▲ヘッドレストに刺繍された「Giovanna EDITION」のロゴ。このクルマの個性を瞬時に伝える大きなポイントのひとつであり、無言のライセンスとなる。



▲今回の取材車に装着されていたのは、22インチのGiovanna MONZA (F-RSJF+00、F-RSJM+35)。ディスク面はプラファイト・グレー。そしてリム部は光り輝くステンレスリップとなっている。ちなみにライトウェイト手法はこのディスクとリムをボルトで組み付けるのではなく、特殊な接着方法で合わせるというもの。これによって驚くほどの軽量化が図られている。タイヤはYOKOHAMA PARADA Spec-Xを指名し、サイズはフロントが255/35-22、リアが285/30-22となっている。



▲エクステリアに装着されたアルミ削り出しのエンブレム類はすべてアメリカのディフェンダーワークス製。ピンポイントでセットされたこれらエンブレムは、主観しすぎない程度で個性を表現してくれる。フロアマットもオリジナルで、もちろん「Giovanna EDITION」のロゴ入りとなる。これ、ここで紹介したすべてのパーツはコンプリートでの販売のみ提供されるもので、車体そのものの販売は一切行われていない。こういった方針がGiovannaエディションの価値をさらに高めてくれるはずだ。